

令和元年度事業計画

I ツーリズムの創造・発展	
(1) ツーリズム企画推進事業	
<p>① 戦略的なツーリズム企画の推進 (担当：経営) (担当：観企)</p>	<p>○事業企画委員会や戦略会議等のもと、会員相互の連携により事業企画・推進を図るとともに、県や市町村等への事業企画等の提案を行う。</p> <p>○当社における中期経営計画(2019年～2021年)の実現を目指し、着実に事業を遂行する。</p>
<p>② 各種協議会 (担当：観企) (担当：誘致) (担当：MICEセンター)</p>	<p>ツーリズムおおいたが事務局として協議会の運営にあたり、総会等の開催及び各協議会における事業企画の提案、推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県ふるさとガイド連絡協議会 ・大分県教育旅行誘致協議会 ・大分県 MICE 誘致推進協議会
(2) 地域連携事業	
<p>① 六郷満山誘客推進協議会との連携 (担当：観企)</p>	<p>○六郷満山開山1300年事業の成果を継承し、大分県ならではの主要観光素材として更なる磨き上げや誘客促進を図るため、誘客推進協議会との連携を図る。また更なる特別感の創出や周遊促進素材の進化に向けた取組を推進する。</p> <p>○誘客キャンペーンを契機に醸成された新たな観光素材や商品、受入態勢の継承を支援する。</p>
<p>② 観光圏等地域連携観光組織との連携 (担当：観企)</p>	<p>○豊の国千年ロマン観光圏が造成した旅行商品を当社のWEB販売システム「テッパンおおいた」で販売するなど、双方にメリットが生じる連携を推進する。</p> <p>○地域連携型の観光組織等と連携して、広域観光の推進を図る。</p>
<p>③ 県内DMO候補法人・地域観光協会との連携 (担当：経営) (担当：観企)</p>	<p>○県内のDMO組織、地域観光協会との連携を強化するとともに、相互が役割分担・連携して共同事業等に取り組むことで効果の拡大を図る。</p> <p>○県域プラットフォームとしての体制強化を図るとともに、各地域のサポートやデータに基づいたマネジメントの推進に取り組む。</p>

II 地域マネジメントの推進
<p>大分県観光のプラットフォームとして県域版DMOの機能を効果的に発現するため、商品企画や販売、マーケティング機能の充実を図るとともに、市町村、域内DMO組織や観光協会、関係団体等との連携を強化し、県内観光の発展をサポートする。</p>
(1) DMO推進事業

<p>① 商品企画・販売機能の強化</p> <p>(担当：経営) (担当：観企) (担当：誘致)</p>	<p>○WEB 販売システム「テッパン！おおいた」を最大限に活用し、ニーズとマッチした地域が元気になる着地型旅行商品及びおんせん県グッズや新たな高額オリジナル商品等の開発を推進するとともに、県内観光情報と販売との連動を図る。</p> <p>○県内外観光関係者等と連携して、県内及び隣県観光地等を結ぶ周遊企画商品の企画・造成や地域の支援を行うことで、観光素材の充実を図る。</p> <p>○各種マーケティング情報を的確に捉え、データに基づいたより効果的な商品販売方法等を検討することで販売強化に繋げる。</p>
<p>② マーケティング機能の強化</p> <p>(担当：経営) (担当：観企) (担当：誘致)</p>	<p>○「観光マーケティング会議」等を継続開催し、市町村や地域観光協会、旅館組合や商工関係団体等との連携を推進する。同時に、より必要とされる情報の提供や共同事業の実施に向けた合意形成に取り組む。</p> <p>○客観的な観光関連データの集約・分析、誘客に結びつく戦略立案に必要なマーケティングを実施するため、各種オープンデータの解析、WEB 市場調査や訪日外国人観光客の動態調査、由布市TICや宿泊事業者等と連携したモニタリング調査等をより効果的な方法で実施する。</p> <p>○マーケティングアドバイザーと連携して、データに基づいた分析情報や事業企画を市町村へ提案する。また、広域での共同事業の必要性やマーケティング情報の有効な活用策等の意識醸成を図るとともに、定期的なPDCAサイクルを構築する。</p>
<p>(2) おもてなし人材育成事業</p>	
<p>① 魅力ある地域・商品づくりの推進</p> <p>(担当：観企)</p>	<p>○ナショナルパーク(国立公園満喫プロジェクト)や日本ジオパーク等の自然環境を活用した大分県らしい新たな商品づくり、個人旅行者や訪日外国人観光客の増加に対応できる観光素材の整備を促進し、魅力ある観光地域づくりに取り組む。</p> <p>※11月「日本ジオパーク全国大会」大分県で開催予定</p> <p>○欧米人に馴染みのあるフットパスコースの充実やまち歩きウォーキングコースを企画するなど、外国人目線での商品造成や積極的な情報発信を行う。</p>
<p>② おもてなし体制の強化</p> <p>(担当：経営) (担当：観企) (担当：誘致)</p>	<p>○外国人観光客向け通訳サービス(おんせん県おおいた多言語コールセンター)のさらなる充実を図るとともに、九州各県とのサービス連携を促進する。</p> <p>○急速に増加する訪日外国人観光客、特にRWC2019大分開催終了後を見据えた受入態勢整備として、多言語メニュー作成支援、欧米向けメニュー開発、研修の充実など、県内における「食」を中心としたおもてなしの質の向上を図る。</p>

<p>③ ガイド等ツーリズム人材の育成 (担当：経営) (担当：観企)</p>	<p>○大分県ふるさとガイド連絡協議会の交流研修会を開催し、ガイドの資質向上を図るとともに、ガイド同士の情報やノウハウの交換を促進する。</p>
<p>(3) 農山漁村ツーリズム育成事業</p>	
<p>① 人材育成研修 (担当：観企)</p>	<p>○農山漁村ツーリズム研究会事務局や行政担当者等の商品開発・企画力、セールス力、危機管理の向上等を目指した研修会を実施し、地域の受入態勢の向上を図る。</p>
<p>② 情報発信 (担当：観企)</p>	<p>○外国人観光客の増加を見据え、農山漁村ツーリズムの魅力や農林漁家体験民宿の紹介など、民間事業者と連携した情報発信に取り組む。</p>
<p>③ 欧米向け環境整備 (担当：観企)</p>	<p>○農家民泊等農山漁村ツーリズムに対する訪日外国人観光客の需要拡大が期待できるため、利用者が必要とする二次交通アクセス等の情報を整備し発信に努める。また、受入家庭の態勢整備や大手民泊サイト等と連携した情報発信に取り組む。</p>
<p>(4) 情報収集・発信事業</p>	
<p>① HP・情報発信誌等発行 (担当：観企)</p>	<p>○「おんせん県おおいた観光情報公式サイト」(ツーリズムおおいたホームページ)における日本語サイトおよび多言語サイトの更新充実を図り、旬な情報、季節を先取りしたタイムリーかつ効果的な情報発信を行う。</p> <p>○観光情報誌「Gururitto〜ぐるり〜」を季刊発行し、県内及び九州内や中国地方などの高速道路サービスエリアや道の駅、公共交通機関のターミナルなどに配布する。</p> <p>○観光動向の情報を集約・整理するとともに、既存パンフレット類の集約や構成見直しにより、より効果的・効率的に観光誘客につながる媒体を制作し、情報発信効果の最大化を図る。</p> <p>○温泉に特化したガイドブックを作成する。</p> <p>○旅行会社やメディアに対して、商品の造成や販売に向けた観光素材、施設情報を提供するニュースレター(おんせん県 PRESS)を発行し、旅行商品造成や誘客促進を図る。</p> <p>○国内向け温泉専用WEBサイトを作成する(現行は訪日ページのみ)。</p>
<p>② WEBを活用した将来のリピーター確保対策 (担当：観企)</p>	<p>○FacebookやTwitter、インスタグラムなどSNSの機動性を活用した若者向け情報発信の強化に取り組む。</p> <p>○「テッパン! おおいた」におけるキュレーションシステムを活用した魅力あるマガジンの強化など、効果的・効率的な情報発信を行う。</p>

<p>③ 魅力アップ情報発信支援</p> <p>(担当：誘致)</p>	<p>○広報広聴課及び各県外事務所と連携した情報発信支援、取材支援により、県外メディアでの大分県観光情報の露出と認知度の向上を図る。</p>
-------------------------------------	--

Ⅲ 国内観光客の誘致促進

近県の九州・中四国エリア、交通アクセスが豊富な関西・中部エリア、人口が集中する首都圏を中心とした東日本エリアに対し、各エリアに応じたプロモーションや旅行業界へのセールスを展開する。また、旅行会社や交通事業者等と連携し、ターゲット毎に効果的な誘客促進策を実施する。

<p>(1) 九州・中四国エリア誘客対策事業</p>	
<p>(担当：誘致)</p>	<p>○更なるリピーター確保のため、温泉の新たな楽しみ方を専門家とともに発掘し、冊子やWEBを通じた発信を行う。</p> <p>○NEXCO西日本との連携のもと、「ドライブパス」を活用した周遊の仕組みを構築する。</p> <p>○西瀬戸エリアである山口県及び広島県と連携した情報発信、誘客対策を実施する。</p> <p>○県内の各社旅連や県福岡事務所等と連携したセールス・キャラバン、イベント等を実施する。</p>
<p>(2) 関西・中部エリア誘客対策事業</p>	
<p>(担当：誘致)</p>	<p>○送客力を持つキャリア(JR西日本)及び九州各県と連携して、若年層の女性をターゲットとした魅力的な仕掛けの構築及び情報発信を行う。</p> <p>○旅行会社の県大分商品の販売促進を図るため、店舗販売員の現地研修を支援する。</p> <p>○民間事業者や県大阪事務所等と連携した共同セールスやキャラバン、イベント等を実施する。</p>
<p>(3) 東日本エリア誘客対策事業</p>	
<p>(担当：誘致)</p>	<p>○福利厚生事業者と周遊の仕組みを構築し、可処分所得の高い層(上場企業、官公庁等)に対する情報発信を行う。</p> <p>○民間事業者や県東京事務所等と連携した共同セールスやキャラバン、メディアを活用したパブリシティによる露出拡大を行うなど、効果的なプロモーションを実施する。</p>
<p>(4) 商談会等による誘客促進</p>	
<p>(担当：誘致)</p>	<p>○県外事務所や市町村、関係団体等と連携したツーリズムEXPOジャパン等の大型イベントへの出展、旅行業界向け商談会の開催などを通じて、大分県観光素材の訴求、販路拡大を図る。</p>

(5) 団体誘客対策事業	
① MICE誘致の推進 (担当：誘致) (担当：MICEセンター)	○大分県MICE誘致推進協議会及び九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会の構成団体と連携し、MICEの誘致に取り組むとともに、団体や企業等のMICE情報の収集に努める。 ○県立武道スポーツセンターの新設に合わせ、屋内スポーツ大会の誘致を強化する。 ○インバウンド誘致事業と連携して、海外からのインセンティブツアーの誘致を強化する。
②教育旅行誘致の推進 (担当：誘致)	○中学校は、広島、岡山を中心とした中国地方、大阪、京都、兵庫といった関西のエリア、高等学校は、岐阜、静岡などの中部地域をターゲットに、学校関係者の招請や教育旅行を取り扱うエージェント担当者へのセールス等を通じ、誘致を推進する。 ○教育旅行誘致協議会と連携して、スポーツやサークル等の合宿の誘致活動に取り組む。 ○学校関係者や施設関係者等と連携して、新たな学習素材のコンテンツ開発を促進する。
(6) 空港利用促進事業	
① 航空事業者との連携促進 (担当：誘致)	○大分空港就航の航空会社と連携し、各社の持つ特性を活かした効果的な情報発信や県内周遊型の旅行商品の造成・販売を促進する。 ○主要な発地となる首都圏での誘客プロモーションを展開する。

IV 広域観光連携の推進	
(1) 東九州軸・九州横断軸連携事業	
① 東九州軸連携誘客 (担当：誘致)	○宮崎県やNEXCO西日本等と連携した誘客キャンペーンやメディアを活用したプロモーションを展開するとともに、旅行商品の造成を促すなど、東九州自動車道開通以後、順調に推移している九州各県や中国四国地方からの誘客を促進する。
② 九州横断軸連携誘客 (担当：誘致)	○個人旅行者をターゲットに九州横断3県(大分・熊本・長崎)が連携して、テーマ設定(温泉、潜伏キリシタン関連遺産等)と連動した素材の発信や既存の周遊ルート商品の販売促進を図ることにより、かつて九州観光のゴールデンルートと称された九州横断軸観光の再興を図る。
(2) 広域観光推進組織連携事業	
(担当：誘致)	○九州観光推進機構と連携した、全国主要都市(東京、大阪、名古屋、福岡等)での商談会開催や誘客プロモーション(「TRY!九州」)を実施する。

V インバウンド誘致対策事業

訪日外国人観光客の増加が進む中、さらなる誘客が見込める東アジアや東南アジアを主要ターゲットに、大分県観光の強みである温泉や食、自然等の観光素材を活用して、国・地域の特性や旅行ニーズに応じたアプローチによる誘客を推進する。

また、RWC 2019大分開催を控え、試合開催国への重点的プロモーションや大会終了後のリピート化を見据えた受入環境の整備などの取組を強化する。

(1) アジアにおける国（地域）別対策

<p>① 韓国対策 （一部新規） （担当：誘致）</p>	<p>○観光素材ニーズの多様化に対応するため、誘客アドバイザーと連携したセールス活動、現地情報の収集を行うとともに、新たな素材の提供、情報発信を行い、継続的な誘客に取り組む。</p> <p>○現地セールスや旅行博等への参加ニーズに対応するため、県内民間事業者等による現地セールス活動等を支援する。</p> <p>○既存路線を利用したFIT向け情報発信（交通連携）やブロガーやインスタグラマーを活用したSNSによる情報発信に取り組む。</p>
<p>② 台湾対策 （担当：誘致）</p>	<p>○現地誘客アドバイザーや県内市町村と連携した県単独商談会や企業セミナーの開催、セールス展開や旅行博への出展等により、効果的なプロモーションを展開し、現地での知名度向上を図る。</p> <p>○急速な個人旅行化を見据え、影響力のあるパワーブロガーの招請や航空事業者と連携した個人客の取り込みを促進する。</p>
<p>③ 香港対策 （担当：誘致）</p>	<p>○誘客アドバイザーと連携して、現地出版社やメディア等を通じた旬な情報の発信、ブロガーによるSNSでの情報拡散を図り、個人客の取り込みを促進する。</p> <p>○現地の有力旅行社や県海外親善大使等との連携を強化して、市場動向にあわせた効果的なセールスを展開することにより、さらなる誘客に繋げる。</p>
<p>④ 中国対策 （担当：誘致）</p>	<p>○誘客アドバイザーと連携して、中国旅行社へのニーズ調査、セールスツールの作成を行い、現地旅行社へのセールスを実施し旅行商品の造成、誘客を図る。</p> <p>○中国大手OTAと連携してインフルエンサー招請、情報発信を行い、知名度向上、個人旅行客の誘客促進を図る。</p>
<p>⑤ タイ対策 （一部新規） （担当：誘致）</p>	<p>○JNTO(日本政府観光局)が主催する旅行博(FIT)への出展など、効果的なプロモーションを展開し現地での知名度向上を図る。</p> <p>○現地商談会への参加やAPU卒業生によるSNS情報発信を行う。</p>

		○現地アドバイザーと連携し、現地旅行会社などの観光業界とのネットワークを深化させ、商品造成、誘客につなげる。
	⑥ ベトナム対策 (一部新規) (担当：誘致)	○日系旅行会社と連携した旅行博出展やWEBやSNSを活用した効果的なプロモーションを実施する。 ○現地旅行会社への説明会を実施し、旅行商品の造成を促進する。
	⑦ シンガポール対策(新規) (担当：誘致)	○東南アジアでも成熟市場であるシンガポール対策を新たに行うため、旅行博出展やFIT向けセミナーやイベントを開催する。
(2) ラグビーワールドカップに向けた欧米豪対策強化事業		
	① WEB・SNS等を活用した魅力発信 (担当：誘致)	○RWC2019大分開催を見据えて、大分県観光の知名度向上が不可欠であることから、影響力が大きいロンリープラネット、海外富裕層向けメディアによる情報発信や海外ライターによる記事制作、SNSを活用した情報発信など、本県の魅力情報を積極的に発信する。
	② 魅力的な商品造成と誘客対策 (担当：誘致) (担当：観企)	○RWCに向け、欧米豪からの観光客をターゲットとした魅力的な専用ツアーや着地型旅行商品等を開発するとともに、滞在中(旅ナカ)に申込みできる受注及び催行管理体制等を整備し利用促進を図る。 ○日本観光におけるゴールデンルート自治体等と連携して、本県への周遊モデルコースを設定し、訪日外国人観光客の周遊を促す。 ○海外船会社へのセールス展開や「クルーズせとうち」等他県と連携して、外国人富裕層が利用する高級小型クルーズ船の誘致を促進する。
(3) 訪日教育旅行誘致推進事業		
	(担当：誘致)	○県教育庁や学校関係者、教育旅行誘致協議会等との連携を強化し、学校交流の円滑な受入調整や地元の受入態勢の強化を図る。 ○県内市町村等が実施する訪日教育旅行関係プロモーションや招請事業等における支援体制を構築する。
(4) 広域連携・情報発信事業		
	(担当：誘致)	○外国人観光客の旅程は、複数県を跨ぐものが一般的であり複数県による連携事業が効果的であることから、国の広域連携事業(VJ事業)を活用した各広域観光ルートの形成、九州各県と連携した招請事業、海外メディア招請を通じた情報発信等に取り組む。

(5) 温泉地サミットの成果を活かした取組	
(担当：誘致) (担当：観企)	○サミットで得られたソフトエビデンス等を活かしながら、温泉を活用した健康プログラムの造成・誘客を福祉保健部と連携して実施する。
VI ツーリズム推進態勢強化事業	
(1) 総会の開催	
(担当：経営)	○会員総意に基づき、ツーリズムおおいたの事業を推進するため、通常総会を年1回開催する。通常総会においては、事業報告や決算承認を諮るとともに、新年度の事業計画案、収支予算案を諮り、その承認を求める。また、本県のツーリズム振興に特に功績のあった団体・個人の功績を称え、表彰を行う。
(2) 理事会の開催	
(担当：経営)	○通常理事会は、年3回（6月、10月、3月）開催する。
(3) 運営会議及び事業企画委員会等の開催	
(担当：経営) (担当：観企)	○運営会議や事業企画委員会において、おんせん県おおいたのツーリズムの舵取り役として中核的役割を担えるよう、マーケティングに基づく戦略的な事業企画提案を行い、大分県観光を牽引する。
(4) 財政基盤の強化（収益事業）	
(一部新規) (担当：経営) (担当：観企)	○公益事業を推進するための財源を確保する観点から、おんせん県おおいたのロゴマークを活用したグッズ販売の販路拡大、アーティスト等との協働による新たな視点からの商品開発に積極的に取り組む。 ○着地型旅行商品の造成・販売の強化、販売におけるリスクマネージメントや業務の効率性向上、WEB販売システムの充実など、事業効果検証を行いながら環境整備に取り組む。 ○広告媒体の提供、セミナーや企画事業への参加の一部有償化など、新たな収入増加を図るための手法を検討し、財政基盤の強化を図る。
(5) 会員との連携強化	
(一部新規) (担当：経営)	○「ツーリズムおおいたNEWS」を発行し、各事業の実施予定や実施状況、観光動向など迅速かつきめ細かな情報提供を行う。

		<ul style="list-style-type: none"> ○会員訪問等による会員ニーズの共有を強化するとともに、セミナーや商談会等への積極的な参加を誘引し、会員メリットの創出に努める。 ○会員専用サイトを新たに開設し、マーケティングや観光情報等の提供を行う。
(6) 組織の機能強化と連携推進		
	<p>(担当：経営) (担当：観企) (担当：誘致)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○観光立国の実現に向けて、国による投資も選択と集中型に移行する中、大分県観光の競争力を強化するため、組織の機能強化を継続的に推進する。 ○急速な訪日外国人観光客の増加、RWC2019、日本ジオパーク全国大会開催を見据え、関係機関との連携を強化する。 ○観光産業には多様な業態が関わっていることから、多様な業種との連携を強化し、効果的・効率的な事業執行を図る。